

コイズミ学習デスク 組立説明書（保証書付き）

このたびはコイズミ学習デスクをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この組立説明書をよくお読みのうえ正しく組立てしてください。
- 事故防止、安全のため、組立説明書に記載の注意マークをお守りいただき組立てしてください。
- 使用上や安全上のご注意は、別冊の取扱説明書をよくお読みください。
- 組立てしたあとも組替えや修理の際にお役立ていただくために、大切に保存してください。
- 文中のイラストは共通の為、現物と異なる場合がありますが、ご容赦ください。

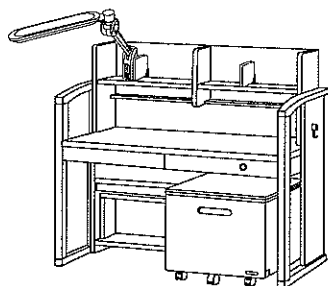
取扱説明書のマークについて

- この説明書では下記のマークを付けて、お守りいただく内容を説明しています。
 - ⚠ 気をつけていただきたい注意内容
 - ⊘ 行ってはいけない禁止内容 Ⓢ 必ず行っていただきたい指示内容
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- この説明書は、大切に保管してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

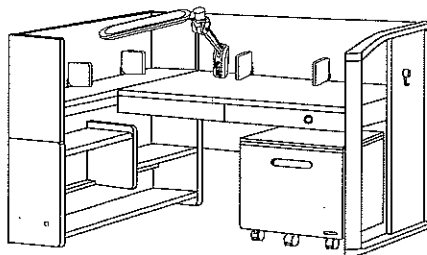
■組立ての前に

ステップアップデスクは、STEP1、STEP2、STEP3と、用途に応じて3種類のスタイルに組み立てることができます。どのスタイルにするか決めてから組み立ててください。

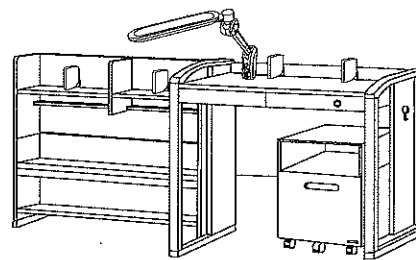
※イラストは共通化していますので、購入された商品とデザインが異なる場合があります。



●STEP1
(スタンダードスタイル)



●STEP2
(ユニットデスクスタイル)
※左右の組替えが可能です。



●STEP3
(セパレートスタイル)

- 展示品とお届け品とでは多少木柄や色が違うことがあります。
- 力の掛かり具合によっては表面に押しキズ、打ちキズ、塗装はげ等を生じることがあります。

品番 LDF-813 WW LDF-814 NS



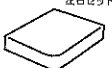
必ず2人以上で
作業を行って
ください。

1 STEP1、STEP3の場合

※1ページの組立てスタイルを決め、組み立ててください。

※STEP2の場合P4から始めてください。

■デスク付属品

A	B	C	D	E	F	G	H
ボルト(M6×35mm) SAT6BJ635	ボルト(M6×50mm) SAT6BJ650	ボルト(M6×70mm) SAT6BJ670	天板受けピン GKU8PN626	連結ピン SAT6MB605	回転金具 SAT6MKN18	ナットキャップ SZCTDC10W SZC9DC07V	押しダボ SZCTTD850
							
×4	×2	×2	×4	×6	×6	×3	×2
I	J	K	L	M	※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップ類は、上段がWW色用、下段がNS色用の部品品番となります。		
コード穴用フタ SATTF550	カギ LFTTKD503	カバンフック SAT9KF07W SAT9KF07V	トラスボルト(M6×25mm) SATTL625	穴埋めキャップ SAT6AC17W SAT7AC17V			
							
1セット	1セット	×1	×1	×3			

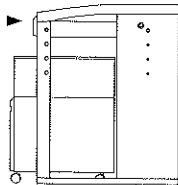
△小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
→お子様が飲み込むことがあります。

△スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
→部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

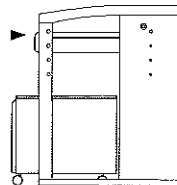
■組立ての前に(天板高さの目安)

※この商品は、お子様の成長に合わせて、天板の高さを4段階で調整することができます。
下図を参考に、天板の高さを決めてから組み立ててください。

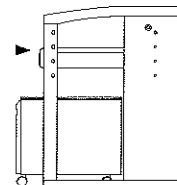
身長 160cm～
天板高さ 73cm



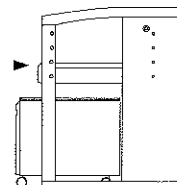
身長 146cm～
天板高さ 67cm



身長 132cm～
天板高さ 61cm

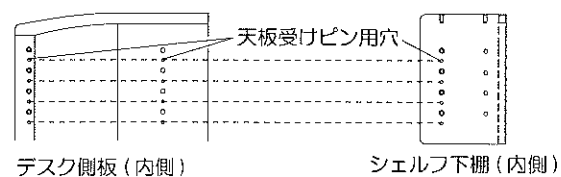


身長 118cm～
天板高さ 55cm



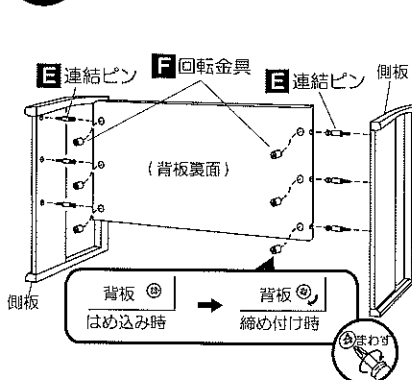
●シェルフ下棚天板高さの決め方

※STEP2の場合、デスクとシェルフの高さが同じになるようにシェルフ天板の高さを組み替えてください。

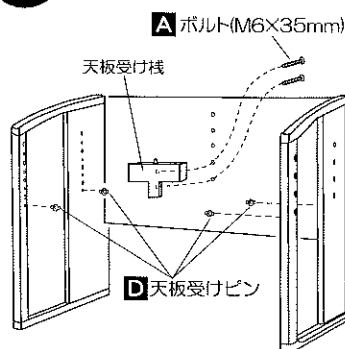


デスクの組み立て

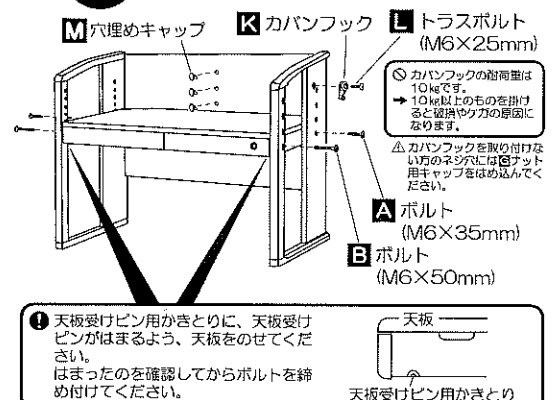
1 側板と背板の取り付け



2 天板受け棧の取り付け

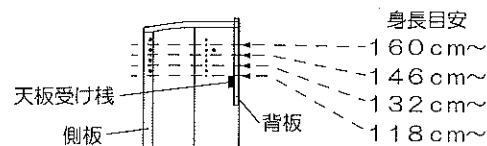


3 天板の取り付け

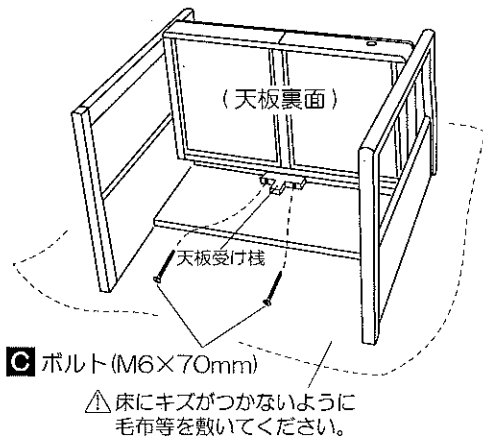


■天板高さの決め方

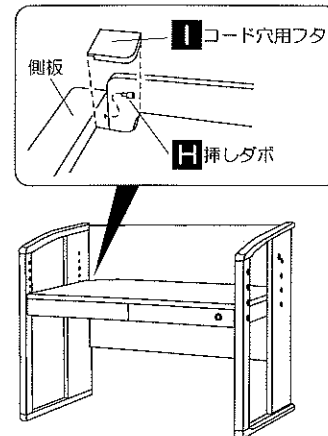
図の目安を参考に、身長に合った高さの穴(側板)に、天板受けピンを差し込んでください。
また、背板の同じ段数のナットに、天板受け棧を取り付けてください。



4 天板と天板受け桟との固定



5 コード穴用フタの取り付け



- ①左右の側板後部内面の穴に**H**挿しダボを取り付けてください。
- ②**I**コード穴用フタを図のように取り付けてください。
※コード穴用フタは、左右があります。

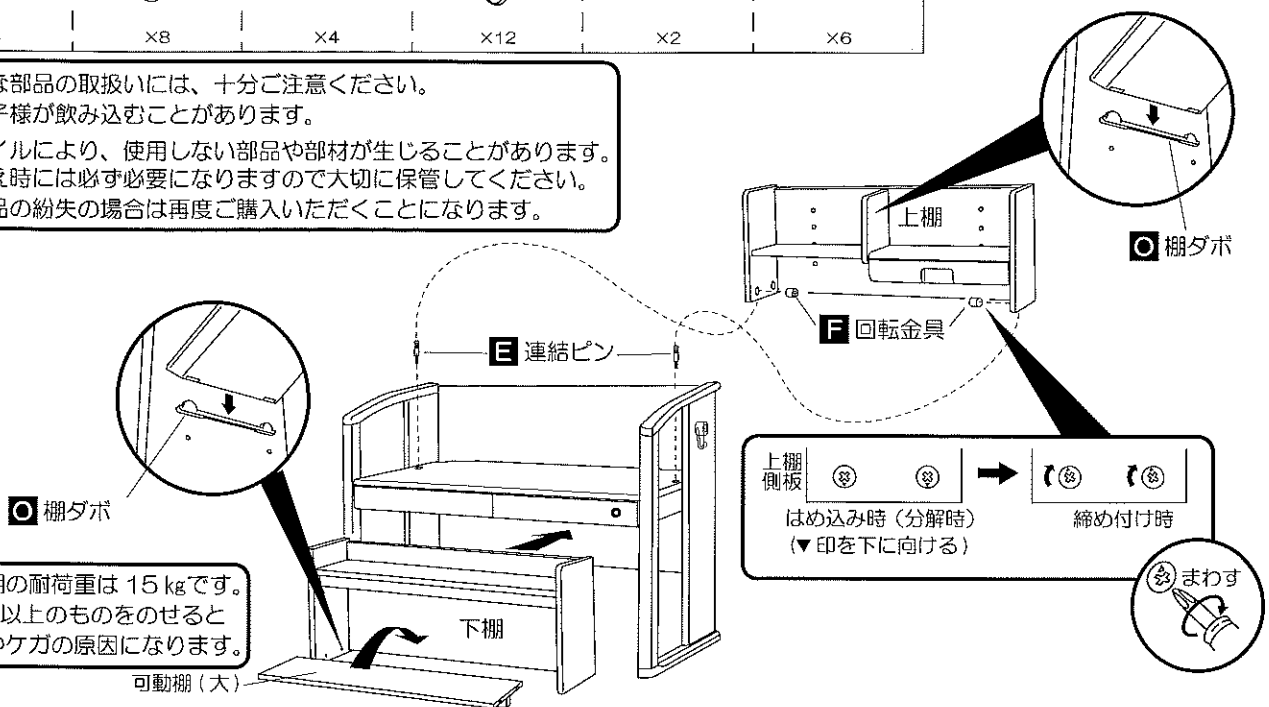
シェルフの組み立て STEP1(スタンダードスタイル)の場合

■シェルフ付属品

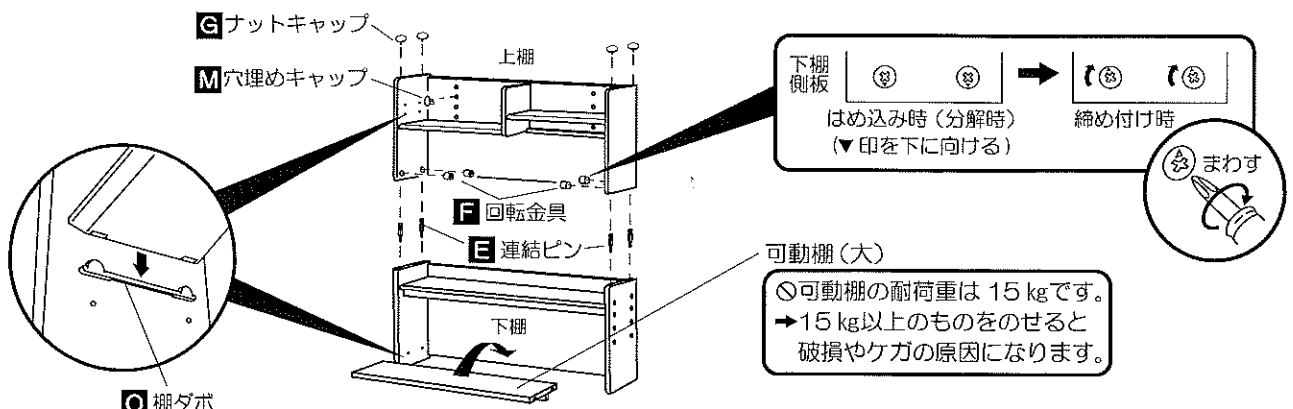
E	連結ピン	F	回転金具	G	ナットキャップ	M	穴埋めキャップ	N	ユニット連結ボルト	O	棚ダボ
	SAT6MB605		SAT6MK18		SZCTDC10W SZC9DC07V		SAT6AC17W SAT9AC17V		SZC1BA6LD		SZCTTD09G
	×4		×8		×4		×12		×2		×6

※枠内の9桁表記は、部品番となります。
キャップ類は、上段がWW色用、下段がNS色用の部品番となります。

- △小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。
→お様が飲み込むことがあります。
- △スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
→部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

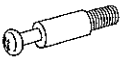
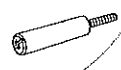


シェルフの組み立て STEP3(セパレートスタイル)の場合



2 STEP2の場合

■シェルフ付属品

E	連結ピン	F	回転金具	G	ナットキャップ	M	穴埋めキャップ	N	ユニット連結ボルト	O	棚ダボ
SAT6MB605	SAT6MKN18	SZCTDC10W SZC9DC07V	SAT6AC17W SAT9AC17V	SZC1BA6LD	SZCTTD09G						
											
X4	X8	X4	X12	X2	X6						

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。
キャップ類は、上段がWW色用、下段がNS色用の部品品番となります。

△小さな部品の取扱いには、十分ご注意ください。

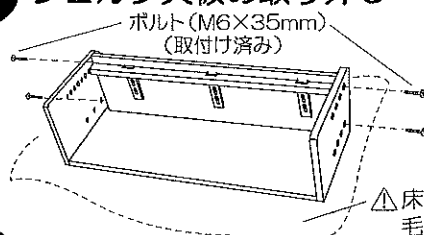
→お子様が飲み込むことがあります。

△スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。

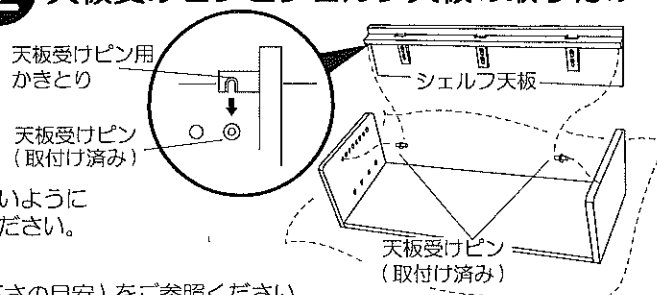
→部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。

シェルフの組み立て

1 シェルフ天板の取り外し

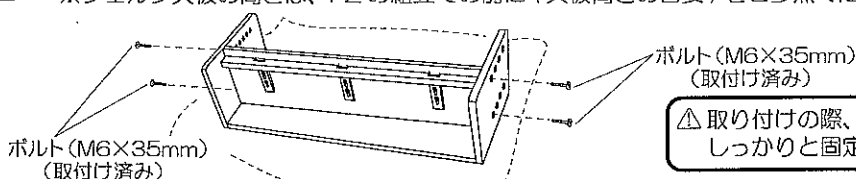


2 天板受けピンとシェルフ天板の取り付け

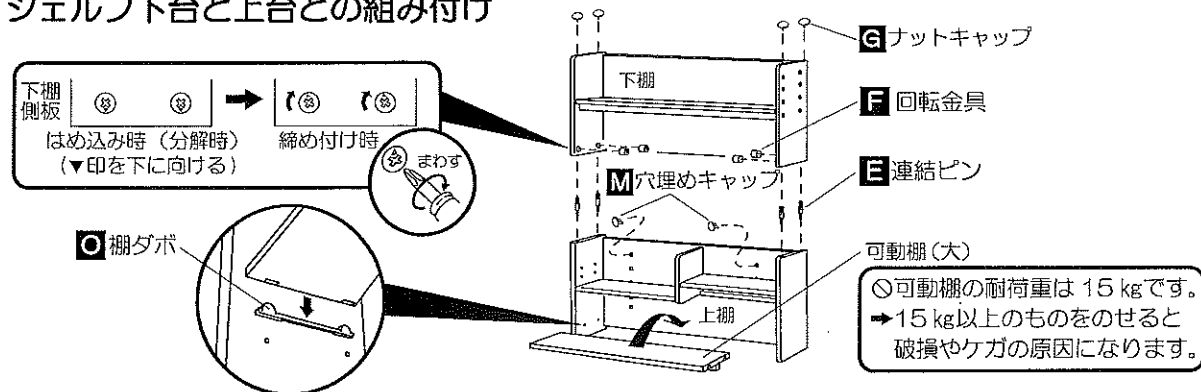


3 シェルフ天板の取り付け

※シェルフ天板の高さは、P2の組立ての前に(天板高さの目安)をご参照ください。

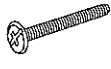
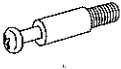


4 シェルフ下台と上台との組み付け

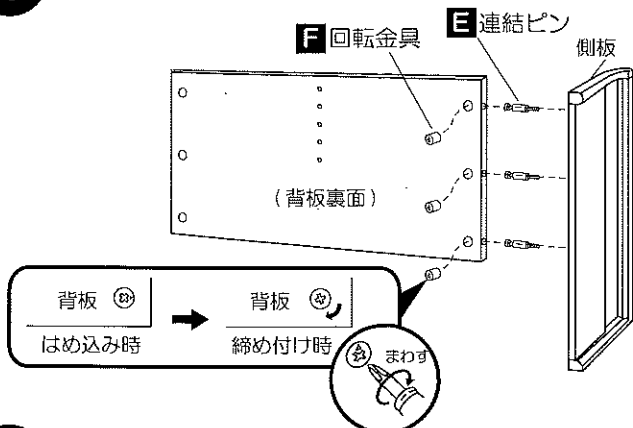


デスクの組み立て

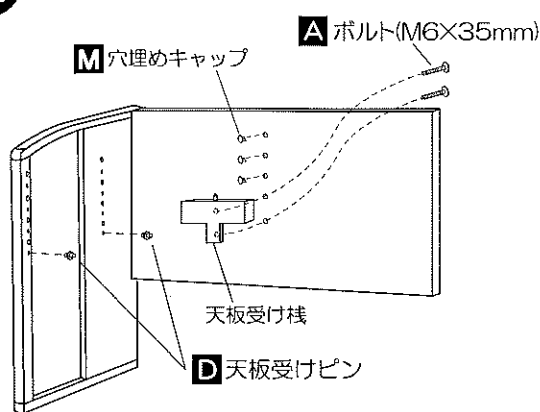
■デスク付属品

A	B	C	D	E	F	G	H
ボルト(M6×35mm) SAT6BJ635	ボルト(M6×50mm) SAT6BJ650	ボルト(M6×70mm) SAT6BJ670	天板受けピン GKU8PN626	連結ピン SAT6MB605	回転金具 SAT6MKN18	ナットキャップ SZCTDC10W SZC9DC07V	押しダボ SZCTTD850
							
X4	X2	X2	X4	X6	X6	X3	X2
I	J	K	L	M	※ここでは、デスクの左がシェルフになる場合の説明となっています。(次ページの図) 右がシェルフにしたい場合は、この図を反転させて組立ててください。		
コード穴用フタ SAT6FT550	カギ LTF1KD503	カギフック SAT9KF07W SAT9KF07V	トラスボルト(M6×25mm) SAT6BL625	穴埋めキャップ SAT6AC17W SAT7AC17V			
					※枠内の9桁表記は、部品品番となります。 キャップ類は、上段がWW色用、下段がNS色用の部品品番となります。		
1セット	1セット	X1	X1	X3			

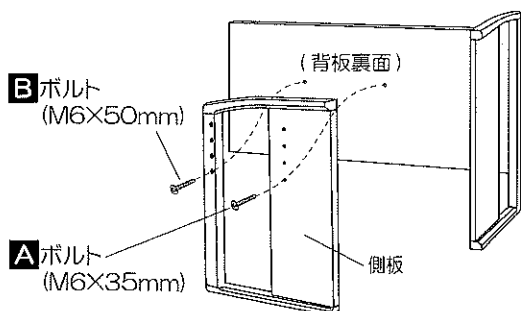
1 背板と側板の取り付け



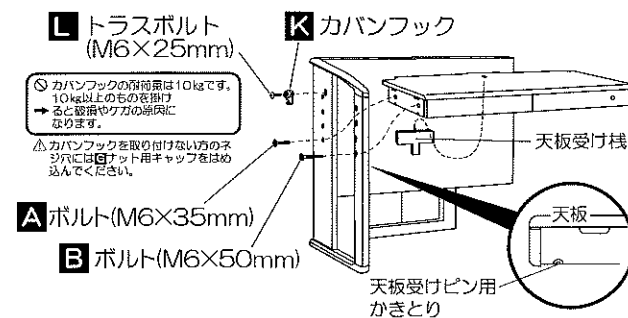
2 天板受け棧の背板への取り付け



3 側板の背板裏面への収納方法



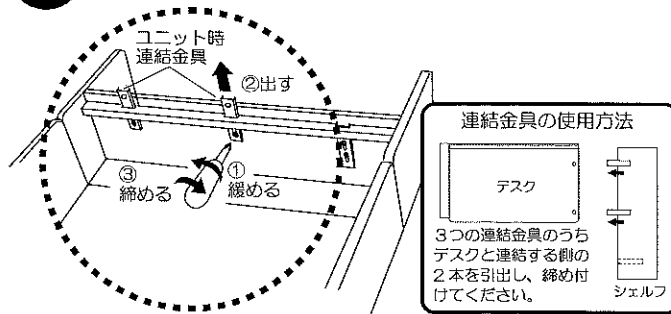
4 天板と側板の取り付け



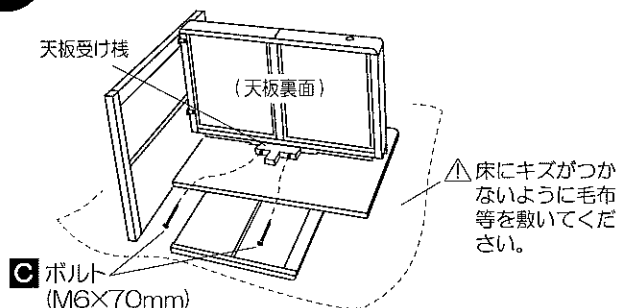
① 天板受けピン用かきとりに、天板受けピンがはまるよう天板をのせてください。はまったのを確認してからボルトを締めつけてください。

デスクとシェルフの組み付け

1 連結金具の調整

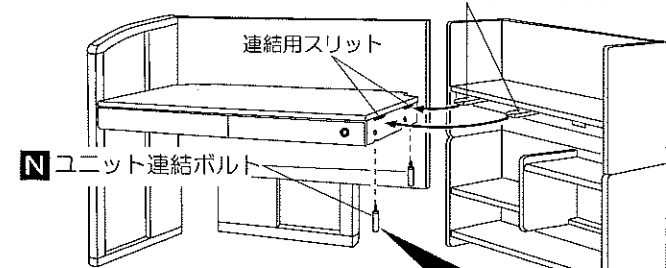


5 天板受け棧の天板への固定

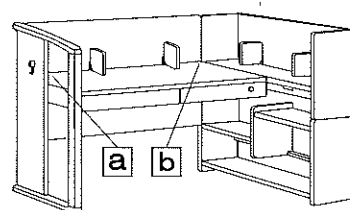
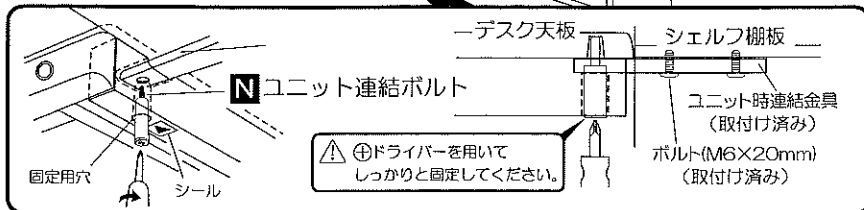
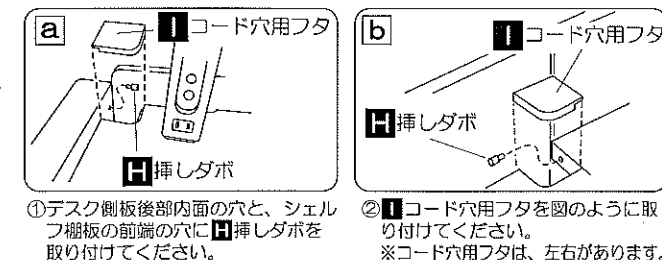


2 デスクとシェルフの組み付け

ユニット時連結金具 (取付け済み)



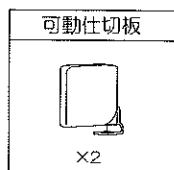
3 コード穴用フタの取り付け



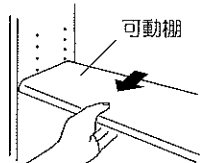
3 可動仕切板の取付け方法

■可動棚への取付け方法

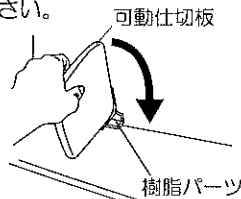
△可動仕切板を取り付ける際は、可動棚の上に物がのっていないことを確認してください。



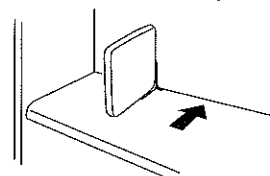
① 可動棚を持ち上げて、手前に引き出してください。



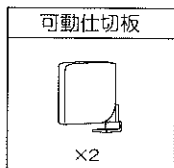
② 可動棚の後に可動仕切板の樹脂パーツをはめ込んでください。



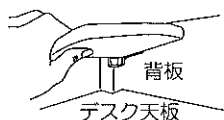
③ 樹脂棚ダボが浮いていないか確かめてから、可動棚をもとの位置に戻してください。



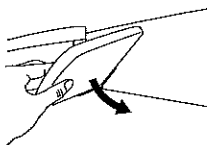
■デスク天板への取付け方法



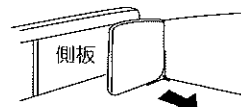
① デスク天板の後角のかき取り部分に樹脂パーツを寝かせた状態で差し込んでください。



② 差し込んだ状態で着脱可動仕切板を垂直におこして天板にはめ込んでください。



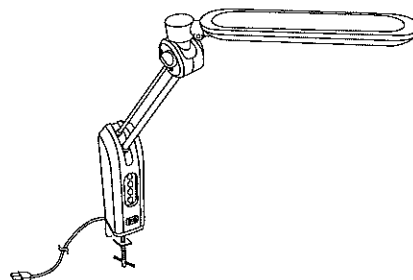
③ 横にスライドさせて使用してください。



4 照明器具の取付け方法

■ライト付属品

A	B	C
ライト取付けボルト	ジョイントナット	締付け金具
		
X2	X2	X1

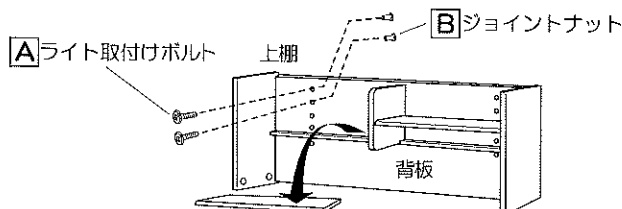


STEP1の場合

※ここでは、デスクの左側がライトになる場合の説明となっています。右側に設置したい場合は、この図を反転させて組立てしてください。

※上棚背板へのライトの取付位置は、4段階で付け替え可能です。お好みの高さで、ライトを固定してください。

① ・上棚へのライト取付けボルトの仮り締め
・締付け金具の取り外し



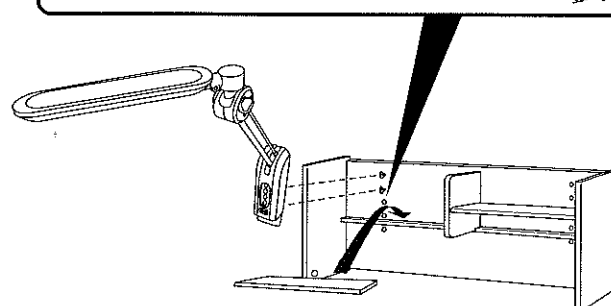
△ライト取付けボルトと△ジョイントナットを2箇所仮締めしてください。

△締付け棒を完全に緩めて、取付け金具から取り外して、上棚へ取り付けてください。



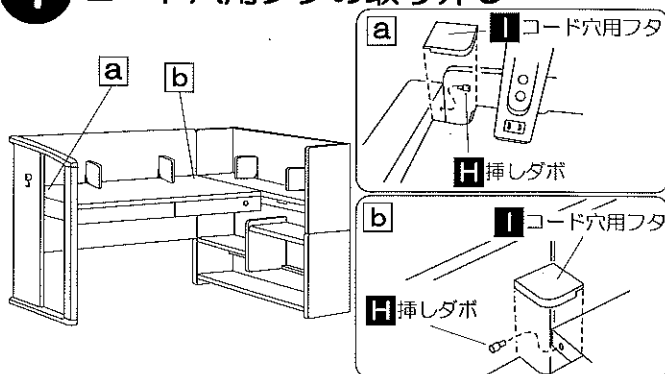
② ・ライト取付けボルトの増し締め
・可動棚の取付け

① ①で仮締めしたボルトに、ライト取付け金具を引掛けた後、ボルトを最後まで締め、ライトを固定してください。

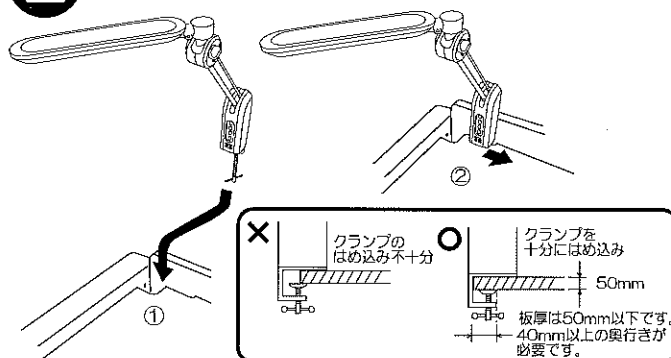


STEP2、STEP3の場合

1 コード穴用フタの取り外し



2 照明器具のコード穴への取り付け



5 ワゴンの組立て方法

※イラストは共通の為、現物と異なる場合があります。

1 キャスターの取り付け

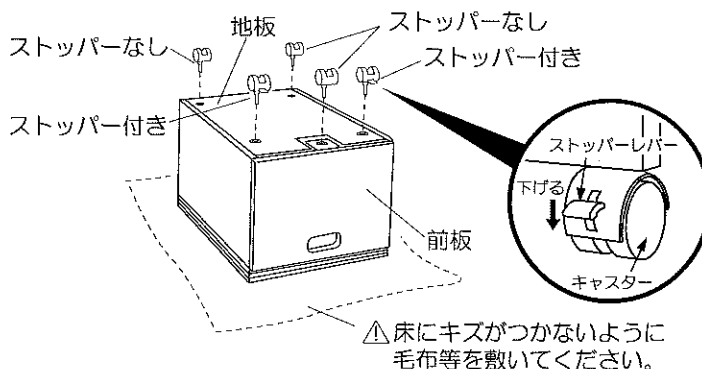
- ① 地板の裏にキャスター4個を差し込んでください。前側には、ストッパー付きキャスター（2個）を取り付けてください。
 - ② 引出しの下キャスター取付け穴に、キャスター（ストッパーなし）1個をしっかりと差し込んでください。
- ワゴンはキャスターにより、自由に移動できます。
 - 移動を止めたい時は、ワゴンの前方両端のキャスターのストッパーレバーを押し下げてください。

■ワゴン付属品

E 連結ピン	F 回転金具	M 穴埋めキャップ
SAT6MB605	SAT6MKN18	SAT6AC17W SAT7AC17V
×12	×12	×8
キャスター(5個入り)	引出し仕切板	
SAT9WC94G		
1セット	×2	

※枠内の9桁表記は、部品品番となります。キャップは、上段がWW色用、下段がNS色用の部品品番となります。

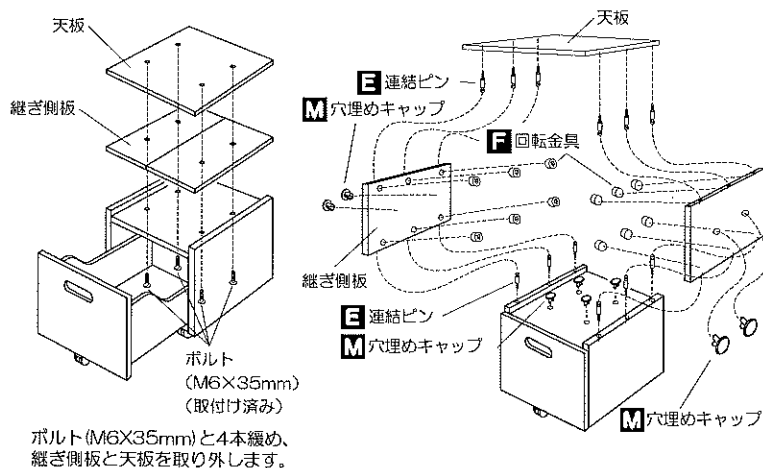
- △ 小さな部品の取扱いは、十分ご注意ください。
→ お子様がお飲み込むことがあります。
- △ スタイルにより、使用しない部品や部材が生じることがあります。
組替え時には必ず必要になりますので大切に保管してください。
→ 部品の紛失の場合は再度ご購入いただくことになります。



△ 床にキズがつかないように毛布等を敷いてください。

2 ワゴンの高さを大きくしたいとき

- デスク天板高さが73cmの時、ワゴンを高くしデスク天板下に収納することができます。

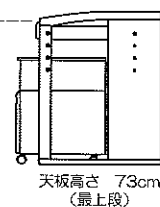


ボルト (M6X35mm) と4本締め、継ぎ側板と天板を取り外します。

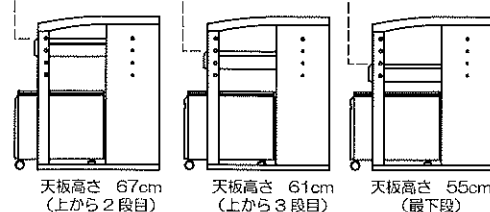
ワゴンの分割についてのご注意

※ デスク天板の高さを67cmと61cmと55cmにセットした場合は、ワゴンを低くしなければ、デスク下に収納することができません。

ワゴンを高くしてデスクに収納可能な天板の高さ



ワゴンを低くしてデスクに収納可能な天板の高さ



分解と組替え方法

- 引越しなどで分解する必要がある場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、分解してください。
- スタイルを組替える場合は、この組立説明書の表紙のイラストのどのスタイルになっているかを確認いただき、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただきながら、分解していただき、さらに表紙のイラストのどのスタイルにするかを決定のうえ、そのスタイルの組立て方法の内容をよくお読みいただき、組立てしてください。
- 分解や組替えの際には、部材や部品を紛失しないよう、十分注意してください。
- 分解や組替えがわかりにくい場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社お客様相談室にご相談ください。
- 組替え方法については、弊社ホームページに詳細を記載している場合がありますので、組み替えの際には一度ご確認ください。<http://kagu.koizumi.co.jp/>

コイズミ学習机保証書

＜無料修理規定＞

1. 組立説明書、取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
 - ① 無料修理をご依頼になる場合には商品と本書をご持参、ご提示のうえお買い上げの販売店にご依頼ください。
 - ② お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にされない場合には下記のご相談窓口へご連絡ください。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
 - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源による故障および損傷
 - ④ 消耗品の消耗、又はそれによる故障
 - ⑤ 本書のご提示がない場合
 - ⑥ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、及び字句を書き換えた場合
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
4. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

*ご販売店様へ

必ず全項目をご記入のうえお客様にお渡しください。
この保証書は本書に示した期間条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品番	LDF-813 WW LDF-814 NS (デスク引出し内の白いラベルで品番をご確認ください。)	(お願い) お買い上げ日、販売店名、及び品番のわかる伝票、領収書等がありましたら、ここに貼り付けて、大切に保管してください。	
お客様	お名前		
	ご住所 〒		
	電話番号 () -		
お買い上げ日			販売店名・住所・電話番号
年 月 日			
保証期間 (お買い上げ日より)			
3ヶ年			

お客様ご相談窓口

商品のお問い合わせ、アフターサービスは、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。

◇お客様相談室 ☎557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号 TEL06(6658)7382

コイズミファニテック株式会社 ☎557-0063 大阪市西成区南津守2丁目1番30号

所在地、電話番号は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。